



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／中野欣哉 幹事／宮原友昭 クラブ会報委員長／太田裕志
SAA／村田弘志 副 SAA／佐藤吉朗

第1598回例会 2021年（令和3年）7月30日（金）

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
SERVE TO CHANGE LIVES

会長挨拶

中野欣哉会長



さて、また同じような話です
天皇陛下の開会宣言で東京
2020オリンピックが始まり
ました。

官報によると天皇陛下は第32
回オリンピック競技大会に御臨席のためオリンピッ
クスタジアムへ行幸、翌24日午前零時14分還幸に
なりました。と記されました。

行きは行幸、帰りは還幸

あれ、京都祇園まつりの一環に「八
坂神社の還幸祭」という神事があつ
たな

早速ググって見たところ、ありま
した。

3基の神輿が御旅所より氏子地区を経て午後11
時に八坂神社に帰って来る、即ち「神様」が還幸
されることとありました。

なるほど、その昔は「天皇陛下」は神様だつ
たのだ。納得！と言うわけで京都にまた行きたくな
りました。

しかし、残念ながら今年の祇園まつりは全て中
止。また、現実を突きつけられました。



必携変更のお願い

- ◆池田修平さん
自宅住所〒380-0803 長野市大字三輪1187-7
ブルーム三輪4-A
- ◆宮川礼二さん
Email: chinca0401@mx1.avis.ne.jp

幹事報告

宮原友昭幹事



* 第一回クラブ協議会報告

・ 8月6日に予定されていま
した納涼会は、新型コロナウイ
ルス感染症に伴うガイドライ
ンに基づき残念ながら中止と
なりました。

代わりに昼間の通常例会へ変更と
なります。

・ 7月22日綿貫隆夫さんお別れ会が執り行われま
した。

・ 7月24日インターアクト地区大会がオンライン
により開催されました。川橋直前会長・南青少
年奉仕委員長・宮原幹事が出席され事務局にて
参加されました。2022年6月26日(日)に長野西RC
ホストによるインターアクト地区大会は飯綱い
この村アゼイリアにて開催予定です。

・ 事務局のお盆休み 8月11日～17日までとなりま
す。緊急時は、会長・幹事まで。

社会奉仕委員会より 瀧澤 聡社会奉仕委員長



本日より、「ダメゼッタイ。」
普及運動の一環で薬物用防止
のための募金箱を例会場入り
口に設置させて頂きました。
皆様からの積極的な募金をお
願い致します。

8/6 本日のプログラム

ゲスト卓話 松宇 正一さん

ゲスト 羽田和弘さん

- ・羽田和弘さん☆講話させていただきます。宜しくお願い致します。
- ・中野欣哉さん・清水光朗さん☆羽田さんごぶさたです。これを機会にまっています。
- ・川橋昭義さん☆羽田さんようこそ。卓話たのしみにしていました。
- ・狩野 土さん☆ピアノ、社交ダンスと幅広い趣味を生かして益々充実した60代を過ごして下さい。今日は、よろしくお祈りします。
- ・柄澤重登さん☆こめや東町羽田さん、お久しぶりです。今日は、歓迎します。ダンス大会楽しんでますか。
- ・小山浩太郎さん☆羽田さんようこそお越しくださいました。再入会お待ちしております。
- ・竹村利之さん☆青木 宏さんの紹介でNHKの取材を数回にわたって受け、あれよあれよと思っているうちに結婚した当初から今日までの事を映し出され「50年間の足跡を振り返るチャンスを与えられました」が反省と将来について考えさせている毎日です。

・合計 18,500円 ・累計 94,855円

綿貫隆夫さんお別れ会



7月22日ホテル国際21の千歳の間に於いて綿貫隆夫さんのお別れ会が執り行われました。

インターアクト地区大会

7月24日インターアクト地区大会がZOOMにて開催されました。今年度は、伊那西高等学校・伊那中央RCホストにより行われました。事務局にて川橋直前会長・南青少年奉仕委員長・宮原幹事の3名がご参加されました。2022年6月26日インターアクト地区大会開催予定です。ホストクラブとして、長野女子高校をより一層支援していきたいと思えます。



ゲスト卓話 羽田和弘さん

「日本を取り巻く食糧事情」

1961年3月1日生まれの還暦です。30代から競技ダンスを続けており、日本ダンススポーツ連盟の指導員とジュニア指導員で週二回教えております。もう一つ2014年からビジネスコーチングということで、PHP研究所で学びました。その後、チームコーチ組織自体をコーチングすること、神経系工学も学びました。現在3月より、狩野さんとご一緒にお亡くなりになられた城野宏先生の情勢判断、能力開発、実践行動学の3つがあるのですが、勉強会を立ち上げました。私たちが、繋ぎ若い方に伝えていきたいと思い活動しております。

2009年より、米屋のおにぎりぶくぶく亭として、おにぎりを販売しております。開店のきっかけは、商業界同友会全国セミナーで、金沢の芝寿司で有名なお店の梶谷会長を訪問した折に「お米屋さんかい。お米を炊いて売っているのかい？」といわれました。その言葉が衝撃的で、印象に残っています。それからおにぎり屋を始めるには10年くらいかかりますが……。商売をしていて、米は親戚から貰うが、おにぎりは買うということにとても驚きました。「忙しいお母さんの代行業でありたい」と思っています。

主食のお米の消費は、年々8~10万トンずつ減ってきています。日本の食糧自給率は、38%で、後は輸入に頼っています。取引させてもらっている現場で話を伺うと、高齢化も進み、自分たちで耕作が出来なくなってきている人が田んぼを作ってくれという依頼が年々増えているそうです。農業のこれからは明るいのではないかと可能性を感じるものがあります。

最近では、対高温障害や害虫対策の品種改良の希望が増えているそうです。品種改良は、最低でも10年くらいはかかるそうです。品種改良には、自然界での突然変異・交配・選抜し新たな品種を作る・化学物質により突然変異を人工的に起こす・遺伝子組み換えこの4つが存在します。3・4目がこれから問題になっていくと思っています。良いか悪いのかは分かりませんが、私たちがこれからどう捉えていくのが重要になっていくかと思っています。品種改良による特定農薬とのセット販売(枯れ葉剤使用の農薬)や遺伝子組み換えの表示義務が廃止されてしまう可能性があります。今後、私たち消費者のにとって遺伝子組み換えをしているものかそうでないものかが分からなくなってしまう。

今、コロナ禍の状況の中で、同じ日本人の中で分断や争いが起きてしまうのではないかと不安があります。人間関係の重要性を改めて感じました。良い人間関係を作っていきましょう。

例会案内

- 8月13日 休会
- 8月20日 ゲスト卓話 岡村 隆志さん
- 8月27日 ゲスト卓話 久保田 俊行さん